会計の基本がわかる！その②
かいけい　きほん

損益計算書
そんえき　けいさん　しょ

講師 有馬秀次

もくじ

Ⅰ. 損益計算書って何？
そんえき　けいさんしょ　なに

Ⅱ. 損益計算書の見方！
そんえき　けいさんしょ　みかた

Ⅰ．損益計算書って何？

そんえき　　けいさんしょ　　なに

損益(そんえき)計算(けいさん)書(しょ)って何(なに)？

商売
しょうばい

損益計算書

（自〇年〇月〇日 至〇年〇月〇日）
（単位：百万円）

売上高	×××
売上原価	×××
売上総利益	×××
税引前当期純利益	×××
法人税、住民税及び事業税	×××
法人税等調整額	×××
当期純利益	×××

損益計算書は、一定期間（通常は1年間）の会社の利益（収益）を示す決算書です。利益は、会社の経営成績だけでなく、収益力の指標でもあります。

損益計算書
そんえき　けいさんしょ

別名
べつめい

Profit and Loss Statement（P/L）
（プロフィット・アンド・ロス・ステートメント）　ピー・エル

損益計算書は、英語で「Profit and Loss Statement（プロフィット・アンド・ロス・ステートメント）」といい、頭文字を取って「P／L」と略します。

利益はどう計算する？
りえき　けいさん

商売
しょうばい

損益計算書
（自〇年〇月〇日 至〇年〇月〇日）
（単位：百万円）

売上高	×××
売上原価	×××
売上総利益	×××
税引前当期純利益	×××
法人税、住民税及び事業税	×××
法人税等調整額	×××
当期純利益	×××

収益
しゅうえき
本業で得られるお金の総額
ほんぎょう　え　かね　そうがく

費用
ひよう
収益を得るために使ったお金
しゅうえき　え　つか　かね

利益
りえき
収益から費用を差し引いた金額
しゅうえき　ひよう　さ　ひ　きんがく

利益は、収益（本業で得られるお金の総額）から費用（その収益を得るために使ったお金）を差し引いた金額のことです。

利益
りえき

売上高（うりあげだか） － 売上原価（うりあげげんか） ＝ **売上総利益**（うりあげそうりえき）

売上総利益（うりあげそうりえき） － 販売費及び一般管理費（はんばいひおよいっぱんかんりひ） ＝ **営業利益**（えいぎょうりえき）

営業利益（えいぎょうりえき） ＋ 営業外収益（えいぎょうがいしゅうえき） － 営業外費用（えいぎょうがいひよう） ＝ **経常利益**（けいじょうりえき）

経常利益（けいじょうりえき） ＋ 特別利益（とくべつりえき） － 特別損失（とくべつそんしつ） ＝ **税引前当期純利益**（ぜいびきまえとうきじゅんりえき）

税引前当期純利益（ぜいびきまえとうきじゅんりえき） － 法人税等（ほうじんぜいとう） ＝ **当期純利益**（とうきじゅんりえき）

利益は、費用の種類によって5つのカテゴリーに分けることができます。それらは売上総利益、営業利益、経常利益、税引前当期純利益、そして当期純利益の5つです。

① 売上総利益
うりあげ そう りえき

営業利益
えいぎょう りえき

経常利益
けいじょう りえき

税引前当期純利益
ぜいびきまえ とうき じゅんりえき

当期純利益
とうき じゅんりえき

① 売上総利益
うりあげ そう りえき

粗利
あらり

売上総利益 ＝ 売上高 － 売上原価
うりあげ そう りえき　うりあげ だか　うりあげ げんか

30億円　100億円　70億円

売上総利益は、売上高から売上原価（仕入原価や直接労働）を差し引いて計算した利益のことです。一般には、粗利と呼んでいます。売上高が100億円で、売上原価が70億円である場合、売上総利益は30億円と計算します。

商品力の価値がわかる
しょうひんりょく　かち

商品力の価値
しょうひんりょく　かち

- **品質**（ひんしつ）：商品そのものが持つ基本的な価値（しょうひん　も　きほんてき　かち）
- **ブランド**：商品が持つブランドイメージ（しょうひん　も）
- **価格**（かかく）：商品の経済的な価値（しょうひん　けいざいてき　かち）
- **デザイン**：商品が持つ感覚的な価値（しょうひん　も　かんかくてき　かち）
- **利便性**（りべんせい）：商品の利便性が持つ価値（しょうひん　りべんせい　も　かち）

売上総利益とは、商品力が持つ価値を表します。商品力とは、品質、ブランド、価格、デザイン、利便性などが持つ価値のことです。

① 売上(高)総利益率
うりあげ　だか　そう　りえき　りつ

$$\text{売上(高)総利益率} = \frac{\text{売上総利益}}{\text{売上(高)}} \times 100$$

うりあげ　だか　そう　りえき　りつ

うりあげ　そう　りえき

うりあげ　だか

30％　　30億円 ÷ 100億円

売上高総利益率 ➡ 直販における利益率

うりあげだか そう　りえきりつ　　ちょくはん　りえきりつ

直接、消費者に販売すること
ちょくせつ　しょうひしゃ　はんばい

「売上高総利益率」は、売上総利益を売上高で割り、その結果をパーセンテージで表したものです。売上高総利益率は、直販における利益率を示します。売上総利益が30億円で売上高が100億円であった場合、売上高総利益率は30％と計算します。

売上総利益
うりあげ そう　りえき

営業利益
えいぎょう　りえき

経常利益
けいじょう　りえき

税引前当期純利益
ぜいびきまえ　とうき　じゅんりえき

当期純利益
とうき　じゅんりえき

② 営業利益
えいぎょう　りえき

営業利益（えいぎょうりえき） ＝ 売上総利益（うりあげ　そうりえき） － 販売管理費（はんばい　かんりひ）

10億円　　30億円　　20億円

販売管理費：販売費及び一般管理費
はんばいかんりひ　　はんばいひ　および　いっぱんかんりひ

（広告費、販売手数料など）　（人件費、設備費など）
こうこくひ　はんばいてすうりょう　　じんけんひ　せつびひ

営業利益は、売上総利益から販売管理費（売上原価以外の費用）を差し引いた利益のことです。売上総利益が30億円で、販売管理費が20億円である場合、営業利益は10億円と計算します。ちなみに、販売管理費とは、「販売費及び一般管理費」の略称です。

販売管理費
はんばい　かんりひ

⇦

販売費及び一般管理費
はんばいひ　および　いっぱん　かんりひ

販売費： 営業部門の人件費、広告宣伝費、交通費、商品の運搬費、販売手数料
はんばいひ　えいぎょうぶもん　じんけんひ　こうこくせんでんひ　こうつうひ　しょうひん　うんぱんひ　はんばいてすうりょう

一般管理費： オフィスの賃料、光熱費、管理部門の人件費
いっぱんかんりひ　ちんりょう　こうねつひ　かんりぶもん　じんけんひ

販売管理費は、商品やサービスを販売・管理するために掛かる経費のことです。「販売費」は、販売活動に掛かる経費のことです。営業部門の人件費や広告宣伝費、交通費や商品の運搬費、販売手数料などのことです。「一般管理費」は、販売に直接関係ない経費のことです。オフィスの賃料や光熱費、管理部門の人件費などのことです。

② 売上(高)営業利益率

うりあげ　だか　えいぎょう　りえき　りつ

$$\text{売上(高)営業利益率} = \frac{\text{営業利益}}{\text{売上(高)}} \times 100$$

うりあげ　だか　えいぎょう　りえき　りつ

えいぎょう　りえき

うりあげ　だか

10%　　10億円 ÷ 100億円

間接費を加味した利益率

かんせつひ　かみ　りえきりつ

「売上高営業利益率」は、営業利益を売上高で割り、その結果をパーセンテージで表したものです。これは、間接費（管理費や販売費など）を考慮に入れた利益率で、本業の収益性を示す指標です。営業利益が10億円で売上高が100億円であった場合、売上高営業利益率は10%と計算します。

売上総利益
うりあげ そう　りえき

営業利益
えいぎょう　りえき

経常利益
けいじょう　りえき

税引前当期純利益
ぜいびきまえ　とうき　じゅんりえき

当期純利益
とうき　じゅんりえき

③ 経常利益
けいじょう　　りえき

経常利益 ＝ 営業利益 ＋ 営業外損益
けいじょうりえき　えいぎょう りえき　えいぎょうがいそんえき

12億円　10億円　2億円

営業外損益 ＝ 営業外収益 － 営業外費用
えいぎょうがいそんえき　えいぎょうがいしゅうえき　えいぎょうがいひよう

2億円　7億円　5億円

経常利益は、営業利益に営業外損益を加味した利益のことです。営業外損益とは、営業外収益と営業外費用の差額のことです。営業利益が10億円で営業外損益が2億円ならば、経常利益は12億円と計算します。

経常利益（けいじょうりえき） ＝ 営業利益（えいぎょう りえき） ＋ 営業外損益（えいぎょうがいそんえき）

12億円　　10億円　　2億円

営業外損益（えいぎょうがいそんえき） ＝ 営業外収益（えいぎょうがいしゅうえき） － 営業外費用（えいぎょうがいひよう）

2億円　　7億円　　5億円

営業外収益（えいぎょうがいしゅうえき） ＝ 受取金利（うけとりきんり） ＋ 受取配当金（うけとりはいとうきん）＋有価証券利息（ゆうかしょうけんりそく）など

営業外費用（えいぎょうがいひよう） ＝ 支払金利（しはらいきんり） ＋ 社債利息（しゃさいりそく） ＋ 為替差損（かわせさそん） など

営業外収益は、受取金利や受取配当金、有価証券利息などを合計したものです。営業外費用は、支払金利や社債利息、為替差損などを合計したものです。
営業外収益が7億円で営業外費用が5億円ならば、営業外損益は、2億円と計算します。

③ 売上(高)経常利益率

うりあげ　だか　けいじょう　りえき　りつ

$$\text{売上(高)経常利益率} = \frac{\text{経常利益}}{\text{売上(高)}} \times 100$$

うりあげ　だか　けいじょう　りえき　りつ

けいじょう　りえき

うりあげ　だか

12％　　12億円÷100億円

金融損益を加味した利益率

きんゆうそんえき　かみ　りえきりつ

「売上高経常利益率」は、経常利益を売上高で割り、その結果をパーセンテージで表したものです。これは、本業以外の金融損益を加味して計算した利益率のことです。

③ 売上(高)経常利益率
うりあげ　だか　けいじょう　りえき　りつ

$$\text{売上(高)経常利益率} = \frac{\text{経常利益}}{\text{売上(高)}} \times 100$$

うりあげ　だか　けいじょう　りえき　りつ

けいじょう　りえき

うりあげ　だか

12％　　12億円÷100億円

金融損益を加味した利益率
きんゆうそんえき　かみ　りえきりつ

経常利益が12億円で売上高が100億円であった場合、売上高経常利益率は12％と計算します。

売上総利益
うりあげ そう　りえき

営業利益
えいぎょう　りえき

経常利益
けいじょう　りえき

税引前当期純利益
ぜいびきまえ　とうき　じゅんりえき

当期純利益
とうき　じゅんりえき

④ 税引前当期純利益
ぜいびきまえ　とうき　じゅん　りえき

税引前当期純利益 ぜいびきまえ とうきじゅんりえき ＝ 経常利益 けいじょうりえき ＋ 特別損益 とくべつそんえき

15億円　　12億円　　3億円

特別損益 とくべつそんえき ＝ 特別利益 とくべつりえき － 特別損失 とくべつそんしつ

3億円　　8億円　　5億円

税引前当期純利益は、経常利益に特別損益を加味した利益のことです。特別損益とは、その年だけに例外的に発生した特別利益と特別損失の差額のことです。

売上総利益
うりあげ そう　りえき

営業利益
えいぎょう　りえき

経常利益
けいじょう　りえき

税引前当期純利益
ぜいびきまえ　とうき　じゅんりえき

当期純利益
とうき　じゅんりえき

④ 税引前当期純利益
ぜいびきまえ　とうき　じゅん　りえき

税引前当期純利益（ぜいびきまえ　とうきじゅんりえき） ＝ 経常利益（けいじょうりえき） ＋ 特別損益（とくべつそんえき）

15億円　　12億円　　3億円

特別損益（とくべつそんえき） ＝ 特別利益（とくべつりえき） － 特別損失（とくべつそんしつ）

3億円　　8億円　　5億円

たとえば、経常利益が12億円で特別損益が3億円ならば、税引前当期純利益は15億円となります。特別損益(3億円）は、特別利益（8億円）と特別損失（5億円）の差額として計算したものです。

特別損益 ＝ 臨時に発生する損益

とくべつそんえき　りんじ　はっせい　そんえき

特別利益＝事業の譲渡益＋子会社の株式売却益

とくべつりえき　じぎょう　じょうとえき　こがいしゃ　かぶしき ばいきゃくえき

特別損失＝減損損失＋災害損失など

とくべつそんしつ　げんそんそんしつ　さいがいそんしつ

特別損益は、その年だけに発生する一時的な損益のことです。例えば、臨時的に発生する事業の譲渡益や子会社の株式売却益などは、特別利益に、減損損失や災害損失などは、特別損失に該当します。

④ 売上(高)税引前当期純利益率
うりあげ　だか　ぜいびきまえ　とうき　じゅん　りえき　りつ

$$\text{売上(高)税引前当期純利益率} = \frac{\text{税引前当期純利益}}{\text{売上(高)}} \times 100$$

ぜいびきまえ　とうき　じゅんりえきりつ　うりあげ　だか

15%　　15億円 ÷ 100億円

特別損益を加味した利益率
とくべつそんえき　かみ　りえきりつ

「売上高税引前当期純利益率」は、税引前当期純利益を売上高で割り、その結果をパーセンテージで表したものです。これは、経常利益に例外的に発生した特別損益を加味した利益率のことです。税引前当期純利益が15億円で売上高が100億円であった場合、売上高税引前当期純利益率は15%と計算します。

売上総利益
うりあげ そう　りえき

営業利益
えいぎょう　りえき

経常利益
けいじょう　りえき

税引前当期純利益
ぜいびきまえ　とうき　じゅんりえき

当期純利益
とうき　じゅん　りえき

⑤当期純利益
とうき　じゅん　りえき

当期純利益 ＝ 税引前当期純利益 － 税金
とうきじゅんりえき　ぜいびきまえ　とうきじゅんりえき　ぜいきん

10億円　15億円　5億円

税金：　法人税 など
ぜいきん　ほうじんぜい

当期純利益は、税引前当期純利益から法人税を差し引いた利益のことです。法人税は、会社が国や地方自治体に納める税金のことです。税引前当期純利益が15億円で法人税が5億円ならば、当期純利益は10億円と計算します。

当期純利益
とうき　じゅん　りえき

配当
はいとう

内部留保
ないぶ　りゅうほ

当期純利益は、配当や内部留保に充てられます。配当とは、会社が利益を株主に分配することです。内部留保とは、会社が自己資本として積み立てる利益のことです。内部留保は、将来の事業拡大やリスク対策に役立ちます。

⑤ 売上(高)当期純利益率
うりあげ　だか　とうき　じゅん　りえき　りつ

$$\text{売上高当期純利益率} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}} \times 100$$

うりあげだか　とうき　じゅん　りえき　りつ

とうき　じゅん　りえき

うりあげだか

10 %　　10億円 ÷ 100億円

税金を加味した利益率
ぜいきん　かみ　りえきりつ

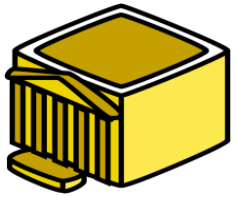
「売上高当期純利益率」は、当期純利益を売上高で割り、その結果をパーセンテージで表したものです。これは、税金を差し引いた最終的な利益率のことです。当期純利益が10億円で売上高が100億円であった場合、売上高当期純利益率は10%と計算します。

経営
けいえい

- **売上総利益**（うりあげ そう　りえき） ⟷ **取引先**（とりひきさき）

- **営業利益**（えいぎょう　りえき） ⟷ **従業員**（じゅうぎょういん）

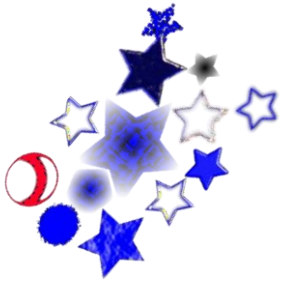
- **経常利益**（けいじょう　りえき） ⟷ **金融機関**（きんゆうきかん）



- **税引前当期純利益**（ぜいびきまえ とうき じゅんりえき） ⟷ **政府**（せいふ）

- **当期純利益**（とうき じゅん りえき） ⟷ **株主**（かぶしき）

企業経営の背後には、取引先、従業員、金融機関、政府、株主などとの間に築かれる多様な人間関係が存在します。この人間関係を損益計算書の各利益項目に対応させると、その企業の収益構造が見えてきます。損益計算書を企業と外部関係者との間の人間関係を示す資料と捉えると、企業の新たな一面が見えてきます。



Ⅱ．損益計算書の見方！

そんえき　けいさんしょ　みかた

Ⅱ-1.財務情報の入手？
ざいむ　じょうほう　にゅうしゅ

各社の公式ウェブサイト
かくしゃ　こうしき

EDINET (edinet-fsa.go.jp)
金融庁のウェブサイト
きんゆうちょう

まず、各社の公式ウェブサイトや、EDINETなどの情報提供サービスから財務情報を入手します。EDINETは、上場企業の有価証券報告書がオンライン上で閲覧できる金融庁のウェブサイトです。

Ⅱ-2.テンプレートの作成！

さくせい

テンプレート（ひな型）ExceLで作る

がた　エクセル　つく

EXCELを使ってテンプレート（ひな型）を作成します。テンプレートは、無料で配布されているものをカスタマイズします。データを入れ替えるだけで、ファクトシート（財務データの一覧表）がすぐに完成します。

Ⅱ－3.損益計算書の分析
そんえき　けいさん　しょ　ぶんせき

損益計算書

（自〇年〇月〇日 至〇年〇月〇日）

（単位：百万円）

売上高	×××
売上原価	×××
売上総利益	×××
税引前当期純利益	×××
法人税、住民税及び事業税	×××
法人税等調整額	×××
当期純利益	×××

◊ **時系列分析**
じけいれつ　ぶんせき

◊ **同業他社と比較**
どうぎょうたしゃ

損益計算書の分析では、主に2つの手法が使われます。「時系列分析」と「同業他社との比較」です。

Ⅱ-3 時系列分析

じけいれつ　　ぶんせき

2021	
売上	100
費用	70
利益	30
利益率	30%
⋮	

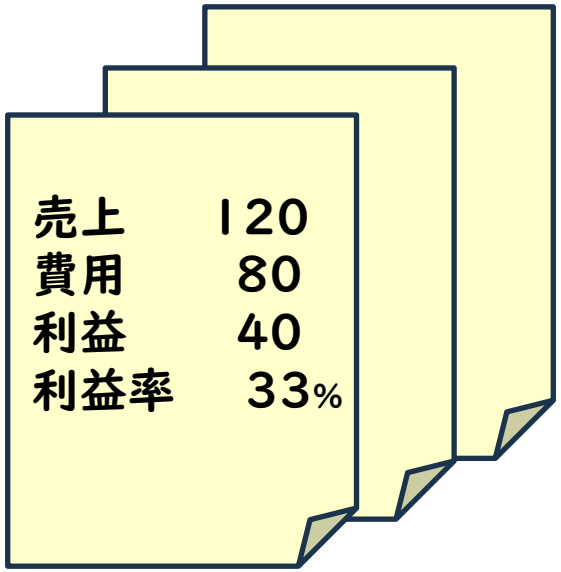
2022	
売上	100
費用	70
利益	30
利益率	30%
⋮	

2023	
売上	120
費用	80
利益	40
利益率	33%
⋮	

「時系列分析」は、自社の過去の業績と比較することから、経営状況を捉える方法です。最低でも3期以上のデータ（売上、費用、利益などの項目）を時系列に並べて比較し、その指標が上昇傾向にあるのか、それとも下降傾向にあるのかのトレンドのパターンを調べる方法です。

Ⅱ-3. 同業他社と比較

どうぎょう　たしゃ　ひかく



ランキング！？

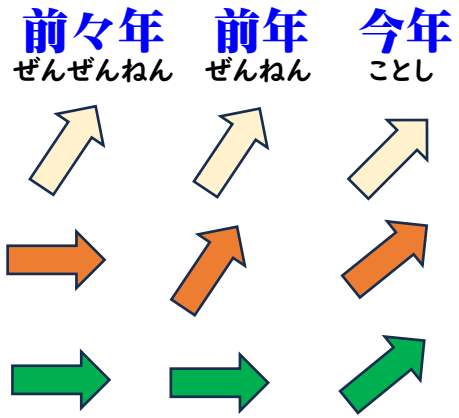
一方、「同業他社との比較」とは、同じ時期における自社とその競合他社との損益を比較する方法です。競合他社の業績や業界平均と比較することで、自社の優位性、または劣位性がわかります。

時系列
じけいれつ

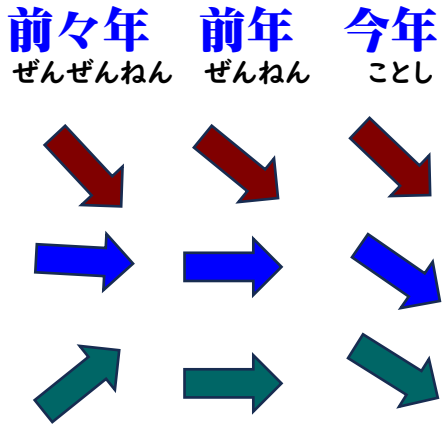
Ⅱ-4.分析結果
ぶんせき　けっか

同業他社
どうぎょうたしゃ

好調
こうちょう



不調
ふちょう



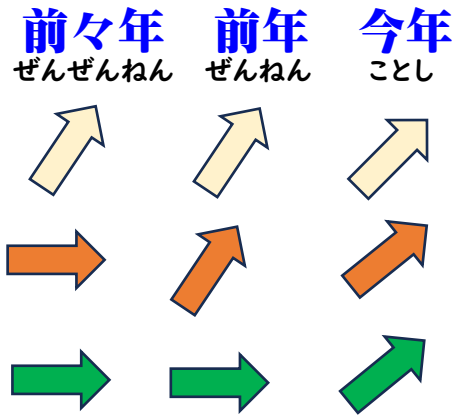
いずれも、矢印が上向きであれば、上昇、または好調、矢印が下向きであれば、下降、または不調を示します。

時系列
じけいれつ

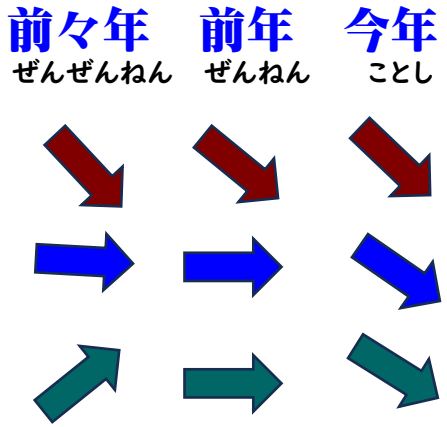
Ⅱ-4.分析結果
ぶんせき　けっか

同業他社
どうぎょうたしゃ

好調
こうちょう



不調
ふちょう



しかし、この分析において重要なのは、数値の大きさそのものではなく、その背後にある状況を理解すること、そして数値が変化した理由を推察することです。これが難しく、実務でもアナリストの技量が問われるところと言えます。

Ⅱ-5-a. 黒字倒産
くろじ　とうさん

損益分析で直面する2つの事例を紹介します。一つ目は「黒字倒産」です。「黒字倒産」とは、損益計算書上では利益（黒字）が出ているにも関わらず、現金（キャッシュ）が不足しているために、会社が倒産する状況のことです。

資金繰りに失敗！

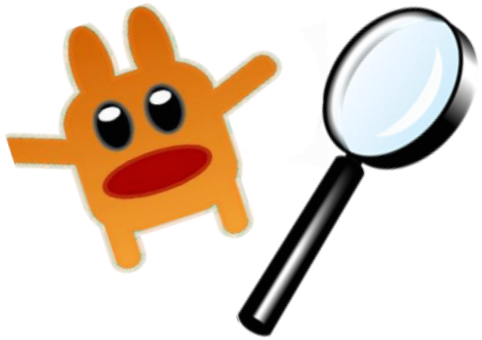
① 売掛金が現金化されていない場合

② 在庫の管理が不適切で、資金が在庫に縛られてしまっている場合

③ 投資や負債の返済などで、現金の出て行くスピードが早すぎる場合

これは、資金繰りが適切でないことから起こります。この原因には、① 売掛金が現金化されていない場合、② 在庫の管理が不適切で、資金が在庫に縛られてしまっている場合、③ 投資や負債の返済などで、現金の出て行くスピードが早すぎる場合、などがあります。

キャッシュフロー計算書
けいさんしょ



現金の流れ
げんきん　　なが

この問題の解決には、キャッシュフロー計算書が役立ちます。キャッシュフロー計算書は、企業の「現金の流れ」を、営業活動、投資活動、財務活動の3つに区分して、現金の増減を示します。そこから、利益と現金残高の間に乖離がないかどうかが確認できます。

Ⅱ-5-b. 最適な広告費
さいてき　こうこくひ

広告費の選択：広告費と販売数量の関係
こうこくひ　せんたく　こうこくひ　はんばいすうりょう　かんけい

広告費 増加 ➡ 営業利益 減少
こうこくひ　ぞうか　えいぎょうりえき　げんしょう

でも、広告効果で売上増加、すると、営業利益は 増加！
こうこく　こうか　うりあげ　ぞうか　えいぎょう　りえき　ぞうか

2つ目は、広告を打つかどうかの選択です。広告費は営業利益を減少させますが、広告効果は販売数量を増加させます。その結果、収益の増加がその減少を上回る場合、営業利益は増加します。つまり、広告が適切に打たれれば、営業利益は最大化されるというわけです。

例えば、広告費が1億円で、
たと　こうこくひ

広告効果が売上を5億円増やした場合、
こうこくこうか　うりあげ　ふ　ばあい

営業利益は4億円増加します。
えいぎょうりえき　ぞうか

一方、広告費が2億円で、
いっぽう　こうこくひ

広告効果が売上を6億円増やした場合、
こうこくこうか　うりあげ　ふ　ばあい

営業利益は4億円しか増加しません。
えいぎょうりえき　ぞうか

この場合、広告費は1億円が最適となります。
ばあい　こうこくひ　さいてき

Ⅱ-5-b. 最適な広告費
さいてき　こうこくひ

広告費 ⇒ 投資！
こうこくひ　とうし

つまり、「最適な選択」とは、広告費を削減することではなく、適度の広告を打つことです。広告を将来に向けての“投資”と考えればよいのです。

最適な経営
さいてき　　けいえい

成長 ➡ 最適
せいちょう　　さいてき

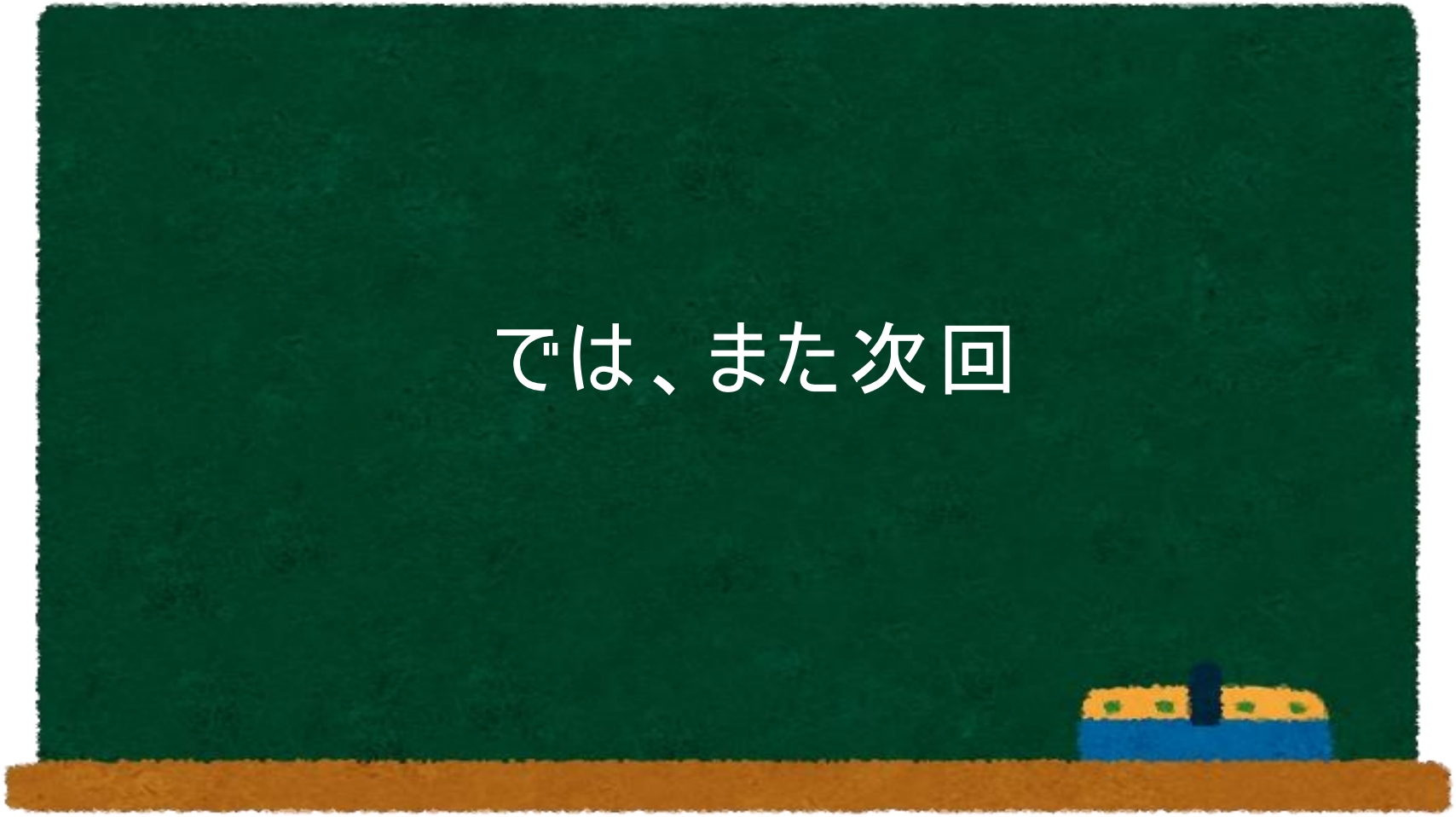
経営のベスト戦略は、単に利益を追求することではなく、全体のバランスをとることだと言われています。目先の利益を優先するか、持続可能な成長を優先するかの選択です。経営者の見識が高い企業では、企業が背負う社会的責任や環境への配慮、従業員の福利厚生などの問題に果敢に取り組む姿勢が感じとれます。

まとめ

① 損益計算書は、一定期間（通常１年間）の会社の利益を示す
そんえきけいさんしょ　いっていきかん　つうじょう　ねんかん　かいしゃ　りえき　しめ
決算書類である。
けっさん　しょるい

② 利益は、売上総利益、営業利益、経常利益、
りえき　うりあげ　そうりえき　えいぎょう　りえき　けいじょう　りえき
税引前当期純利益、当期純利益の５つに分けられる。
ぜいびきまえ　とうき　じゅんりえき　とうき　じゅん　りえき　わ

③ 損益計算書は、「時系列分析」と「同業他社との比較」
そんえきけいさんしょ　じけいれつ　ぶんせき　どうぎょう　たしゃ　ひかく
の２つの手法で分析する。
しゅほう　ぶんせき


では、また次回

制作 金融大学